

東京散歩—佃島・深川界限

2016年4月10日歩くと少し汗ばむ好日天候の中、栗林君の計画のもと高橋君、三海君、亀田君及び私(井田)で佃島・深川界限を散歩した。

集合場所は東京メトロの月島駅である。

月島というと「もんじゃ焼き」が有名ですがまだ昼食には早いので「もんじゃ焼」のお店群を横目に見ながら月島公園へ行く。

まだ、桜も咲いていて、船泊りには水面一帯に花びらが散っている。佃島は徳川家康の伊賀越えの援助をした漁民が佃に漁村をつくることを許可したのが始まりである。

狭い玄関の前に植木鉢を置き、隣家と壁を接するような建物等、下町風情も所々に残っている。

佃島に来たら佃煮を購入しなければならない。シラスや貝類の佃煮がお勧めになっている。

一步土手の向こうは隅田川だ。

昔は橋がなかったので渡し船が通っていたそうだ。

石川島重工の勤務する人達で出勤時はいっぱいだったそうだがそれ以外の時間は30分に1本位の割で渡し船が通っていたと付近のオジサンが説明してくれた。

佃島は佃町と池上正太郎の小説「鬼平」に出てくる人足寄場とからなるが、人足寄場の面影は皆無で、高層マンションが乱立している。



桜の花びらに囲まれた船泊り



佃煮のお店



渡船場



聖露加病院の見える佃大橋

その一角に住吉神社がある。住吉神社には川柳で名を馳せた水谷緑亭の句碑がある。



住吉神社



水谷緑亭の句碑

また、隅田川の灯台が高台にそびえ立っている。しばらく歩くと相生橋に到着する。相生橋は永代橋及びスカイツリーの絶景ポイントだ。



隅田川灯台



相生橋から観た永代橋及びスカイツリー

相生橋から海洋大学前を歩き、やがて深川不動と深川八幡へ。深川八幡では骨董市が開かれていた。また、歴代横綱の名前のある碑を観た。名前がモンゴル力士ばかりあるのが残念だ。



深川不動



富岡八幡宮



横綱碑

昼食は深川めしのぶっかけをいただいた。深川めしには「ぶっかけ」と「しじみを焚いたもの」があるが私はぶっかけの方が好みだ。門前仲町で解散する。(井田 記)